

Alarm Fatigue 評価尺度の日本語版翻訳と ICU 看護師・医師における信頼性と妥当性の検討

情報公開文書

作成日:2025 年 6 月 23 日(バージョン 4)

1. 研究の名称

Alarm Fatigue 評価尺度の日本語版翻訳と ICU 看護師・医師における信頼性と妥当性の検討

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究機関:京都大学医学部附属病院麻酔科

研究責任者:京都大学医学部附属病院手術部・助教・武田親宗

4. 研究の目的・意義

今回の研究目的は、Alarm Fatigue を測定するためのツールである、CAFQa の日本語版を作成し、妥当性と信頼性を検証することである。CAFQa 日本語版を作成することで、日本の医療従事者の Alarm Fatigue の客観的な評価を行えるようになり、現状の把握やアラーム対策の効果の評価が行えるようになると想定される。

5. 研究実施期間

研究は、研究機関の長の実施許可日から 2026 年 10 月 31 日で実施する予定です。

6. 対象となる試料・情報の取得期間

2025 年 9 月 15 日から 2025 年 10 月 31 日までの間に京都大学医学部附属病院 ICU で従事されている看護師・医師の方

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

質問紙調査の研究です。介入は行わず、Web アンケートに回答していただきます。データ管理を行う際、特定の個人を識別しうる記述等(メールアドレス)を削除し、コード化を行います。症例登録及び症例報告書等の作成の際には、研究対象者識別番号を用います。得られたデータから CAFQa の日本語版の妥当性と信頼性を解析します。

8. 利用または提供する試料・情報の項目

年齢、性別、ICU 職種経験年数、最終学歴、日本語版 CAFQa、NIOSH 職業性ストレス簡易調査票、不眠重症度質問票、メールアドレス

9. 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日

10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名

京都大学医学部附属病院 手術部助教 武田親宗

11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学医学部附属病院 手術部助教 武田親宗

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法

ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究に関する資料の入手・閲覧する方法

他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。

14. 研究資金・利益相反

1. 研究資金の種類および提供者:この研究は、運営費交付金、科学研究費補助金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。
2. 提供者と研究者との関係:この研究は特定の企業からの資金提供は受けていません。
3. 利益相反:利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。

15. 研究対象者等からの相談への対応

1. 研究課題ごとの相談窓口

京都大学医学部附属病院手術部 武田親宗

(Tel)075-751-3433 (E-mail)chikashi@kuhp.kyoto-u.ac.jp

2. 京都大学の苦情等の相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel)075-751-4748 (E-mail)ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

16. 外国にある者に対して 試料・情報を提供する場合

外国にある者に対する資料・情報の提供は行いません。